

碧雲通信

発行日 令和8年7月8日
発行者 宍道高校通信制課程
松江市宍道町宍道1586
TEL 0852-66-7577・FAX 0852-66-7117
印刷所 (有) 木次印刷

【碧雲通信名前の由来】 たなびく雲の下にあお（碧）く輝く宍道湖を、江戸時代の文人・菅茶山は「碧雲湖」と名づけ、その美しさを称えました。これを本校の通信誌名として拝借しました。



▶ 7・8月号の掲載内容

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| ○教務部より | ○生徒部より |
| 前期試験範囲と要点…………… (2) | 通信制課程ホームルーム活動（人権教育）…… (7) |
| ○進路部より | ことばを大切にしよう…………… (8) |
| 令和9年度「大学入学共通テスト」 | ○保健相談部より |
| 出願手続き説明会②について…… (7) | スクールカウンセラーの来校日について…………… (8) |
| 令和9年度「指定校推薦」一覧 …… (7) | ○編集後記…………… (8) |

ホームページ <https://www.shinji-h.ed.jp>

教務部より

前期試験範囲と要点

国 語				
講座名	現代の国語（前半）	言語文化（前半）	文学国語（前半）	古典探究（前半）
担当者	本誌にて確認ください			
教科書範囲	「こそめスープ」 「未来をつくる想像力」 「水の東西」	「さくらさくらさくら」 「とんかつ」 「古文学習のしるべ1・2」 『徒然草』『龜山殿の御池に』 『徒然草』『奥山に、猫またといふものありて』 「羅生門」	「調律師のるみ子さん」 「デューク」 「生命は」 「そこにひとつの席が」 「真珠の耳飾りの少女」 「フェルメールの技を読む」 「鼻」 「バグダッドの靴磨き」のうち、複数の作品から出題します	『古今著聞集』『小式部内侍が大江山の歌の事』 『竹取物語』『火鼠の皮衣』 故事・寓話「画竜点睛」「朝三暮四」 「古典の常識あれこれ」 「枕草子」「すさまじきもの」「雪のいと高う降りたるを」 三国志の世界「水魚之交」「死諸葛走生仲達」 「方丈記」「ゆく川の流れ」「安元の大火」 諸家の思想「民父母」「柔弱」「胡蝶之夢」のうち、複数の作品から出題します
レポート開	第1回～第2回 ※第3回からは出題しません。	第1回～第3回 ※第3回の短歌、俳句からは出題しません。	第1回～第6回のうちから、出題します。	第1回～第6回のうちから、出題します。
学習の要点	○教科書本文をくりかえし読み、1回は音読をしておくといでしょう。 ○漢字の読み書きも含めて、レポートの内容を中心に出版します。ただし、問題の形式を変える場合や、一部、発展問題もあります。 ○GoogleClassroomで配信している資料も活用してください。	○教科書本文をくりかえし読み、1回は音読をしておくといでしょう。 ○レポートの内容を中心に出版します。ただし、問題の形式を変える場合もあります。 ○現代文：漢字の正しい形や読み方、語句の意味、作者の考え方や登場人物の気持ち、短歌俳句の内容などを適切に説明できるよう復習してください。 ○古文：古語の読み方や歴史的仮名遣い、現代語訳、和歌の内容等を正しく答えられるように復習してください。 ○漢文：訓点のルールを覚え、書き下し文、現代語訳等について説明できるように復習しておいてください。	○教科書本文をくりかえし読んで、内容を十分に理解しておきましょう。 ○漢字の読み書きも含めて、レポートの内容を中心に出版します。ただし、問題の形式を変える場合や、一部、発展問題もあります。	○レポートの内容を中心に出版します。ただし、問題の形式を変える場合もあります。 ○古文→かなづかいや古語の読み方、現代語訳のしかた等について正しく答えられるよう復習しましょう。 ○漢文→書き下し文のきまりや書き方、訓点の付け方、現代語訳や内容について正しく答えられるよう復習しておきましょう。

地 歴

講座名	地理総合（前半）	地理探究（前半）	歴史総合（前半）	日本史探究（前半）	世界史探究（前半）
担当者	本誌にて確認ください				
教科書範囲	教科書 P5～99 学習書 P14～175 ※地図帳 レポートに対応するページ	教科書 P6～165 学習書 P10～92 ※地図帳 レポートに対応するページ	教科書 P5～107 学習書 P10～108	教科書 P8～165 学習書 P8～99	教科書 P7～185 学習書 P8～73
レポート開	第1回～第3回	第1回～第6回	第1回～第3回	第1回～第6回	第1回～第6回
学習の要点	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりと行いましょう。 ○用語の正確な理解が大切です。関連性や文章内での適切な使い方をしっかりと覚えておきましょう。 ○漢字は判読ができればよいですが、教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。 ○解答すべき用語は、文章の意味や問われている条件をしっかりとくみ取って解答してください。	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりと行いましょう。 ○用語の正確な理解が大切です。関連性や文章内での適切な使い方をしっかりと覚えておきましょう。 ○漢字は判読ができればよいですが、教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。 ○解答すべき用語は、文章の意味や問われている条件をしっかりとくみ取って解答してください。	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりと行いましょう。 ○時代の流れをつかむことが大切です。事件の起きるきっかけや政策転換の理由など、時代の背景をしっかりと覚えておきましょう。 ○全てが漢字指定です。教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。 ○人物名はフルネーム、事件名も省略せずに書きましょう。	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりと行いましょう。 ○時代の流れをつかむことが大切です。事件の起きるきっかけや政策転換の理由など、時代の背景をしっかりと覚えておきましょう。 ○振り返りからもいくつか出題します。もう一度要点をまとめておいてください。 ○全てが漢字指定です。教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。 ○人物名はフルネーム、事件名も省略せずに書きましょう。	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりと行いましょう。 ○それぞれの地域の歴史や時代の特徴について、基本的な事項を整理して確認しておきましょう。 ○地図で基本的な都市名・国名の位置は確認しておきましょう。 ○教科書に掲載されている資料や図版・写真などもよく見ておくこと。 ☆解答する上での注意事項 教科書において漢字で表記されているものは、必ず漢字で答えてください。

公 民

講座名	公共 (前半)	倫理 (前半)	政治・経済 (前半)
担当者	本誌にて確認ください		
教科書範囲	教科書 P10～113 学習書 P10～127	教科書 P10～74 P157～168 P208～212 学習書 P8～65 P130～135	教科書 P6～118 学習書 P8～77
範レポート開ト	第1回～第3回	第1回～第3回	第1回～第3回
学習の要点	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりとしましょう。 ◎用語の正確な理解が大切です。関連性や文章内での適切な使い方をしっかりと覚えておきましょう。 ○漢字は判読ができればよいですが、教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。 ○人物名、解答すべき用語は、文章の意味や問われている条件をしっかりとくみ取って解答してください。	☆出題内容について ○主にレポートの内容から出題します。第1回～第3回までのレポートをしっかりと見直し、復習をしておきましょう。(教科書の図や写真も) ○教科書で太字になっている重要語句を中心に、その語句の意味を言葉でまとめ、答えられるようにしておきましょう。意見記述の問もあります。 ○教科書や学習書に漢字で書かれているものについては、必ず漢字で書けるように練習してください。	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりとしましょう。 ◎用語の正確な理解が大切です。関連性や文章内での適切な使い方をしっかりと覚えておきましょう。 ○漢字は判読ができればよいですが、教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。 ○人物名、解答すべき用語は、文章の意味や問われている条件をしっかりとくみ取って解答してください。

数 学

講座名	数学Ⅰ (前半)	数学Ⅱ (前半)	数学A (前半)	数学入門 (前半)
担当者	本誌にて確認ください			
教科書範囲	教科書 P32～72 1. 数と式 教科書 P150～153 5. 集合	教科書 P4～63 1. 方程式・式と証明 2. 図形と方程式	教科書 P4～38 1. 場合の数 2. 確率 教科書 P92～97 3. はかる	教科書 P8～89 1. 整数 2. 正の数・負の数 3. 小数 4. 分数 5. 計算の利用 6. 文字式 7. 指数法則 8. 乗法公式
範レポート開ト	第1回～第3回	第1回～第6回	第1回～第3回	第1回～第3回
学習の要点	レポートの問題を中心に出題 レポートの問題をもう一度解き直しましょう。特によく間違える問題はくり返し解いて、確認をしておきましょう。 数と式 指数法則を用いた累乗計算や分配法則や公式を使った展開・因数分解について、公式を使う計算ができるようにしましょう。 根号を含む式の計算では、ルートの中はできるだけ小さい自然数にすること、かけ算のルールなど基本事項を必ず確認しておきましょう。分母の有理化は要注意です。約分ができる場合は必ず約分をしてください。 不等式を解くときには、不等号の向きが変わるとき(両辺を負の数で割るとき)に注意しましょう。 2次方程式は因数分解・解の公式の両方のやり方を確認しておきましょう。 集合については、用語と記号をベン図とともに覚えておきましょう。 途中の計算や考え方をしっかりと書きましょう。答のみの場合は減点になる場合もあります。定規の使用を認めます。	方程式・式と証明 2次方程式の解の公式と判別式を用いる問題は出題します。また、乗法公式・因数分解の公式、虚数単位<i>i</i>を含む計算、解と係数の関係、整式の割り算は様々な問題で用いられるので、正確に解けるように練習しましょう。 図形と方程式 内分点・外分点の座標を求め、正確に図示しましょう。 図形と方程式の問題では、与えられた情報を図にまとめながら勉強しましょう。点の座標や直線の傾き、共有点の個数などを図で確認することができます。 また、方程式の表す直線や円、不等式の表す領域を正しく図示ができるようにしておきましょう。 ※解答には計算過程を丁寧に書きましょう。また、コンパス・定規の使用を認めます。自分で準備しておいてください。学校からの貸し出しはありません。	レポートの問題を中心に出題 レポートの問題をもう一度解き直しましょう。特によく間違える問題はくり返し解いて、必ず確認をしておきましょう。 場合の数 和集合の要素個数計算 $n(A \cup B) = n(A) + n(B) - n(A \cap B)$、順列と組合せの基礎計算、$nPr$、$nCr$や重複順列・円順列、積の法則など系統立てて整理しておこう。 確率 余事象、独立な試行、反復試行の確率、条件付き確率など基本例題の再確認をしよう。期待値についてその意味と求め方を押さえておこう。 場合の数や確率の計算においては、計算式がどんな意味を持つのかを説明する必要があります。「説明不足」「式の計算のみ」「答えだけ」といった答えは、減点の対象となる場合があります。 教科書、レポート、学習書でしっかりとドリルしましょう。計算練習を積んでおくことはとても大切です。定規の使用を認めます。	レポートの問題を中心に出題 レポートの問題を繰り返し練習することが最善策です。よく間違える計算は何回も確認しておきましょう。語句も出題します。 整数 / 分数 / 正の数・負の数 「計算の優先順位」を確認しながら計算練習をしましょう。 分数の答は既約分数で答えます。また、たし算・ひき算は通分をしてから計算しましょう。 正の数・負の数は符号「+、-」の扱いに注意。 割合の意味を押さえ、文章を数式化できるようにしておきましょう。速さと時間、距離の関係も適切に使いましょう。 文字式 / 式の計算 指数法則を用いた累乗計算、分配法則と公式を用いた式の展開は必ず出題します。 ※解答には計算過程を丁寧に書きましょう。答のみの場合は減点になる場合があります。

理 科

講座名	科学と人間生活（前半）	物理基礎（前半）	化学基礎（前半）	生物基礎（前半）
担当者	本誌にて確認ください			
教科書範囲	P66～93、P138～157	P10～91	P24～93	P14～77
レポート範囲	第1回～第3回	第1回～第3回	第1回～第3回	第1回～第3回
学習の要点	レポートの内容を中心に出题します。復習して理解をおきましょう。出題形式等は変えます。 計算問題も出題します。計算式は途中の式もきちんと書いて答えられるようにしておきましょう。単位も間違えないように気を付けましょう。電卓の使用は不可です。	レポートの内容を中心に出题しますので、復習して理解をおきましょう。出題形式等は変えます。 数値計算を要する問題も出題します。使う公式・計算式など最後の答えまでの過程もきちんと書けるようにしておきましょう。単位をつけることも忘れないように。電卓の使用は不可です。	レポートの内容を中心に出题します。レポートの復習をおきましょう。出題形式等は変えます。	レポートの内容を中心に出题します。レポートの復習をおきましょう。出題形式等は変えます。

保健体育

講座名	体育1～5（前半）	保健（前半）
担当者	本誌にて確認ください	
教科書範囲	筆記試験はありません。実技試験のみ行います。ただし、受験するには、各講座（体育1～5）のレポートの第1回が合格していなければいけません。	○教科書 P4～72 P129～保健編・用語解説（試験範囲の用語について） ○学習書 P8～53
レポート範囲	前期に選択（申請）した種目の実技試験を行います。自分の受講している講座（科目）の試験を受けます。併修している人はそれぞれの講座毎に試験を受けてください。	○第1回～第3回
学習の要点	○それぞれが選択した種目で、基本的な技術の実技試験を行います。 ○受験する際の服装は、通常の体育の実技同様です。違反した場合の受験は認めません。 ※実技試験当日 選択した種目の活動場所に集合してください。	○主にレポートの内容に沿って出題しますが、出題の形式は変わる場合があります。 レポートの内容は、教科書が中心ですが、一部学習書も関わっていますので、よく読んで理解しておきましょう。

芸 術

講座名	音楽Ⅰ（前半）	音楽Ⅱ（前半）
担当者	本誌にて確認ください	
教科書範囲	<課題曲> 教科書 P38「野ばら」シューベルト作曲 P39「野ばら」ヴェルナー作曲 ・どちらか1曲選んでください。	<課題曲> 教科書 P20、21 四季の歌 「さくらさくら」「我は海の子」 「里の秋」「たき火」から1曲選んでください。
レポート範囲	レポート第1回～第3回 ・実技試験のみです。	レポート第1回～第3回 ・実技試験のみです。
学習の要点	・上記の「野ばら」のどちらかを選んでください。 ・歌唱でも器楽演奏でもどちらでも構いません。歌唱の場合は原語（ドイツ語）です。 ・間違えないかどうかを見る試験ではありません。 ※レポートの1～3の最終ページと試験用紙を必ず記入して持ってきてください。その用紙がなければ受験出来ません。 ・試験時間の予約の方法等はclassroomで連絡しますので、必ず確認してください。	・上記から1曲選んでください。 ・歌唱でも器楽演奏でもどちらでも構いません。 ・間違えないかどうかをみる試験ではありません。 ※レポートの1～3の最終ページと試験用紙を必ず記入して持ってきてください。その用紙がなければ受験出来ません。 ・試験時間の予約の方法等はclassroomで連絡しますので、必ず確認してください。

芸 術

講座名	美術Ⅰ（前半）	美術Ⅱ（前半）	書道Ⅰ（前半）	書道Ⅱ（前半）
担当者	本誌にて確認ください			
教科書範囲	レポート第1回から第3回で扱ったページ	レポート第1回から第3回で扱ったページ	レポート第1回～第3回で扱ったページ 古典作品・教科書 P20～33	レポート第1回～第3回で扱ったページ 古典作品・教科書 P8～9 P24～25 P32～33 P40～41
レポート	レポート第1回～第3回	レポート第1回～第3回	レポート第1回～第3回	レポート第1回～第3回
学習の要点	・レポートで学習した内容、特に（ ）に記入したポイントなどを確認しておきましょう ・実技がありますので、鉛筆B～4B（よく削ったもの）と消しゴムを持ってくること。 ・スクーリングでの体験や自分の作品制作・美術に関する体験についての出題があります。	・レポートで学習した内容、特に（ ）に記入したポイントなどを確認しておきましょう ・実技がありますので、鉛筆B～4B（よく削ったもの）と消しゴムを持ってくること。 ・スクーリングでの体験や自分の作品制作・美術に関する体験についての出題があります。	・筆記試験のみです。 ・レポートで学習した内容（書道用語、書体の変遷等）をしっかりと見直しましょう。教科書の古典作品も良く観察しておきましょう。 ・最後に作文があります。	・筆記試験のみです。 ・レポートで学習した内容（篆書・隸書・草書・行書、篆刻等）をしっかりと見直しましょう。教科書の古典作品も良く観察しておきましょう。 ・最後に作文があります。

外 国 語

講座名	英語コミュニケーションⅠ（前半）	英語コミュニケーションⅡ（前半）	論理・表現Ⅰ（前半）	英語入門（前半）
担当者	本誌にて確認ください			
教科書範囲	Warm-Up 1～Lesson 6	Lesson 1～Lesson 5 Reading 1	Unit 1 Lesson 1～Lesson 6 ちがいがわかる伝わる英文法 01/02/03/09/10	Part 1～Part 8
レポート	第1回～第6回	第1回～第6回	第1回～第3回	第1回～第3回
学習の要点	○各レッスンの本文を読み（できるだけ音読をすすめます）、話の概要をつかんでおく。 ○各レッスンの本文に出てくる単語や熟語、英語表現を整理し、覚えておく。 ○教科書と学習書、スクーリングで配布したプリントを熟読して、各レッスンの文法事項をまとめ理解しておく。 ○レポートの内容を中心に出题します。レポートの各問いについてポイントを押さえつつ、すべて答えられるようにしておくこと。ただし、問題の形式を変える場合があります。	○教科書や学習書を見直し、復習する。また各レッスンを音読し、内容や英語表現（本文の次のページのTargetにある文法事項）を理解しておくこと。 ○試験範囲のレポートを見直し、問題に自力で正しく答えられるようにしておくこと。 ○各レッスンの単語や熟語の意味、つづりを覚え、正しく書けるようにしておくこと。 ○各レッスンの文法事項について、教科書や学習書、スクーリングで使ったプリントを利用して復習し、理解しておくこと。	○教科書やスクーリングで配布したプリントを復習して、英語表現や文法事項をまとめ理解しておく。 ○レポートだけでなく、教科書からも出題します。 ○レポートについては各問いについてポイントを押さえつつ、すべて答えられるようにしておくこと。ただし、問題の形式を変える場合があります。	○各Partの学習書の説明をよく読んで復習しておくこと。 ○スクーリングで配布したプリントを見直し、自力で正しく問題に答えられるようにしておくこと。 ○試験範囲のレポートを見直し、自力で正しく答えられるようにしておくこと。

家 庭

講座名	家庭総合（前半）	消費生活（前半）	保育基礎（前半）	生活と福祉（前半）
担当者	本誌にて確認ください			
教科書範囲	教科書 P10～159	教科書 P1～71	教科書 P6～25 P28～50 P52～73	教科書 P8～89
範レポート開	第1回～第4回	第1回～第3回	第1回～第3回	第1回～第3回
学習の要点	●第1章 生涯を見通す ●第2章 人生をつくる ●第3章 子どもと共に育つ ●第4章 超高齢社会を共に生きる ●第5章 共に生き、共に支える ●第6章 食生活をつくる 以上について、レポートの内容を中心に出题する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。	●なぜ「消費生活」を学ぶのか（P1～2） ●社会を支える消費者（P3～19） ●消費者被害と消費者の権利・責任（P20～29） ●消費生活の安全と自由（P30～71） 以上について、レポートの内容を中心に出题する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。	●子どもの保育（P6～25） ●子どもの発達（P28～50） ●子どもの生活（P52～73） 以上について、レポートの内容を中心に出题する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。	●健康と生活（P8～27） ●少子高齢化の現状と高齢者の特徴（P28～51） ●高齢者の自立支援（P52～65） ●高齢者支援の法律と制度（P66～89） 以上について、レポートの内容を中心に出题する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。

情 報

講座名	情報Ⅰ（前半）
担当者	本誌にて確認ください
教科書範囲	P8～62
範レポート開	第1回～第3回
学習の要点	1章 情報で問題を解決する 2章 情報を伝える 以上について、レポートの内容を中心に出题する予定ですが、出題形式等は変更する場合がありますので教科書をよく読み理解しておきましょう。

商 業

講座名	ビジネス基礎（前半）	簿記（前半）	情報処理（前半）
担当者	本誌にて確認ください		
教科書範囲	P20～112	P10～93	P6～117
範レポート開	第1回～第2回	第1回～第4回	第1回～第5回
学習の要点	1章 商業の学習とビジネス 2 私たちの社会とビジネス 2章 ビジネスとコミュニケーション 3章 経済と流通の基礎 4章 さまざまなビジネス 以上について、レポートの内容を中心に出题する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。	●簿記の基礎 ●貸借対照表と損益計算書の作成 ●仕訳帳の記入と総勘定元帳への転記 ●合計残高試算表の作成 ●精算表の作成 ●現金・当座預金・小口現金 以上について、レポートの内容を中心に出题する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。 ※電卓を使用します。必ず電卓を持ってくること！ 忘れた場合、受験できません！	1章 企業活動と情報処理 2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 3章 情報の集計と分析 1 表計算ソフトウェアの活用例 2 統計の基礎 ※通信の性能評価（伝送効率）の計算 以上について、レポートの内容を中心に出题する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。

進路部より

令和9年度「大学入学共通テスト」出願手続き説明会②について

令和9年1月16日(土)、17日(日)に実施される「大学入学共通テスト」の受験希望者に対して、説明会②を開催します。

受験希望の生徒は必ず参加してください。意思確認をし、出願日程等について説明します。時間厳守で集合してください。

日 時：8月27日(木：T2の日) 12:35～13:10

場 所：大講義室(3階)

令和9年度「指定校推薦」一覧

宍道高校に指定校推薦依頼が来ている学校一覧については、別刷りにして卒業予定生には送付しますので確認してください。また職員室前の廊下にも掲示しますので併せて確認してください。

推薦(指定校・公募制)については、校内締切日(第1回)を9月10日(木)としています。推薦制度による受験を希望する人は「志望理由書(400～500字)」を添えて「推薦願(進学)」を提出する必要がありますので、遅くとも8月末までには担任の先生にその旨を申し出てください。([進路のしおり] p.51～53を参照)

生徒部より

通信制課程ホームルーム活動(人権教育)

6月21日(日)、22日(月)に人権教育講座を実施し、生徒23名が参加しました。「在日外国人の人権について考える ～在日韓国・朝鮮人の人権問題を例に～」をテーマに、差別とはどういうものか、差別をしないためにはどうすればいいのか、について考えました。

以下に、参加された生徒さんの感想文からの抜粋を2つ紹介します。

- 在日韓国・朝鮮人に対する差別の歴史が続いてきたことや、今でも差別を行う人たちが存在することに驚きました。今まで深く知ろうとしていなかったで、うやむやな知識のまま生活していたら、自分はどうなっていたんだろうと不安になりました。
- 在日韓国・朝鮮人が受けてきた差別の歴史を知って、あつてはいけないことだと思いました。私もよくネットで外国人を差別・批判するコメントや動画をよく見るので、情報を簡単に信じるのではなく、正しい知識を身につけることが大事だと思いました。



ことばを大切にしよう

私たちは、家庭や学校、社会の中で日々「ことば」によるコミュニケーションをとっています。自分の気持ちや意思を伝えるために使うことばが、(自分ではそのつもりがなかったとしても) 場合によって人を不快にさせたり傷つけてしまったりすることがあります。そして、傷つけられた心は、破れてしまった紙と同じで、元に戻ることはありません。

「この一言が、誰かを傷つけないか？」

「親しみのつもりでかけたことばが、誰かにいやな思いをさせていないか？」

「容姿や行動をからかったり否定したりすることばを使っていないか？」

日ごろ使っていることばについて立ち止まって考えてみませんか。家庭で、教室で、多目的ホールで、安心して過ごせるといいですね。

保健相談部より

スクールカウンセラーの来校日について

相談には事前の予約が必要です。相談を希望する方は、担任にお知らせください。

【8月・9月の来校日と時間】

7月の来校日と時間は「碧雲通信6月号」に掲載しています。

本誌にて確認ください いずれの日も12:45～16:30 ※8月26日は12:15～14:00

8月19日(水)、8月26日(水)※、

9月2日(水)、9月9日(水)、9月16日(水)、9月30日(水)

本誌にて確認ください いずれの日も11:15～15:00

8月20日(木)、8月27日(木)、8月31日(月)、

9月10日(木)、9月14日(月)、9月28日(月)

◆相談場所は、カウンセリングルーム(保健室の隣)です。

◆相談は、1コマ45分です。

◆生徒のみなさんだけでなく、保護者の方も相談できます。



編 | 集 | 後 | 記

4月に始まった前期も、そろそろ終わりに近づいてきました。前期試験に向けて、今自分ができること、やるべきことを一つずつやっていきましょう。

そのためにも、まずは今回の碧雲通信で試験の範囲や要点を確認し、学習の見通しを立てましょう。わからないことや困ったことなどがあれば、早めに講座担当などに相談してみてください。

最後まで「あせらず、やすまず、あきらめず」の気持ちで取り組み、前期試験を突破してくれることを願っています。